

## 令和三年度

### 岡山中学校 「A方式」 問題Ⅱ

#### 【注意】

- この試験は、文章や資料を読んで、太字で書かれた課題に対して、答えやあなたの考えなどを書く試験です。課題ごとに、それぞれ指定された場所に書きましょう。
- 試験用紙は、表紙(この用紙)をのぞいて五枚あります。指示があるまで、中の試験用紙を見てはいけません。
- 「始め」の合図があつてから、試験用紙の枚数を確かめ、五枚とも指定された場所に受験番号を記入しましょう。
- 試験用紙の枚数が足りなかったり、やぶれていたり、印刷のわるいところがあつたりした場合は、手をあげて先生に知らせましょう。
- 試験用紙の  ※ には、何も書いてはいけません。
- この試験の時間は、四十五分間です。

受験番号

(1) ——の「長所と短所」「恩恵と弊害」は反対の意味をもつ熟語の組み合わせです。このような反対の意味をもつ熟語の組み合わせを二つ、それぞれ漢字二字で書きましょう。ただし、「長所と短所」「恩恵と弊害」「原因と結果」を使ってはいけません。

Diagram with four boxes and arrows: [ ] ↔ [ ] ↔ [ ] ↔ [ ]

※

(2) ——ア「科学・技術が持つ二面性をよく理解し、プラス面は活かし、マイナス面は小さくするよう努める」とありますが、新薬の開発を例として考える場合、薬を開発する人にとって、どのような「プラス面」「マイナス面」が考えられますか。「プラス面」については自分で考えたこと、「マイナス面」については筆者が述べていることをそれぞれ一つずつ書きましょう。

Table with 2 columns: プラス面, マイナス面

※

(3) ——イ「科学的な見方・考え方」とありますが、「科学的な見方・考え方」をするとは、どうすることだと筆者は述べていますか。五十字以内で書きましょう。( )、や。や。「」なども一字に数えます。( )

50字 grid

※

(4) ——ウ「科学的に考えてお互いの意見を率直に出し合う」とありますが、人々が「科学的な考え方」をするこ

80字 grid

※

社会になるといふ危険性。



(4枚め)

受験 番号	
----------	--

(1)※
------

(2)※
------

(3)※
------

3※
----

課題3 一朗さんと明子さんは、日本の医療費について、先生を交えて話し合いました。あとの会話文を読んで、(1)～(3)に答えましょう。

先生：資料1をみると、日本の「人口一人当たりの国民医療費」が大きく変化しているのがわかりますね。1997年と2017年を比べてみましょう。

一朗：1997年と2017年を比較すると、およそ  倍に増加しています。

明子：そうですね。増加している理由は、 でしょうか。

(1) 一朗さんの会話文の  にあてはまる小数第1位までの数字と、明子さんの会話文の  に入る理由を考えて書きましょう。

A	
B	

先生：様々な理由が考えられます。外国の医療制度と比べてみると、日本の特徴がみえてくるかもしれません。資料2は医療費の負担割合の国際比較です。

一朗：こんなに違うのですね。日本は個人負担が少ないから、気軽に通院するかもしれません。先日、かぜをひいたので病院に行ったのですが、そのときに母親から中学生になったら医療費がかかるようになると言われました。ぼくの医療費はだれが負担しているのですか。

先生：住んでいる市町村が負担しています。市町村のなかには中学生の医療費を負担しているところもあります。

明子：わたしたちの医療費は税金の一部があてられているのですね。一方で、アメリカでは民間保険などにかかる費用や家計の負担が大きくて病院へは行きづらいですね。

先生：日本の医療は、病気になってから通院する「治療」が中心であるのに対して、アメリカは病気にならないための「」が中心であると言われています。

(2) 先生の会話文の  に入る漢字2文字を考えて書きましょう。

C	
---	--

一朗：そうなのですね。アメリカだけではなく他の国の制度も調べてみる必要がありますね。

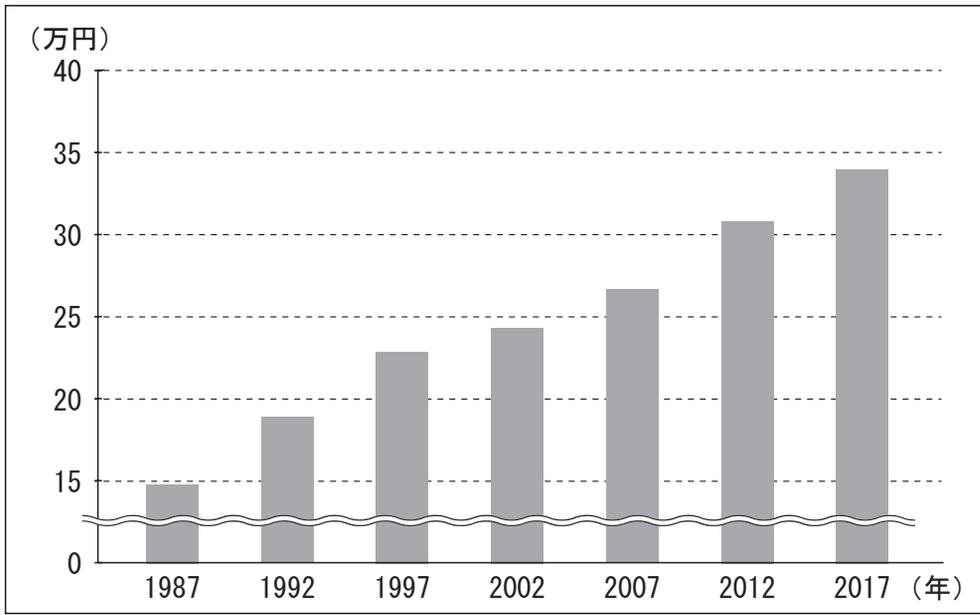
明子：そうすれば、日本の医療費の課題や対応策が見つかるのではないのでしょうか。

(3) 資料1と資料2を参考にして、あなたが考える「日本の医療の課題」と、「なぜそのことを課題と考えたか」を具体的に説明しましょう。

あなたの 考 え	
-------------	--

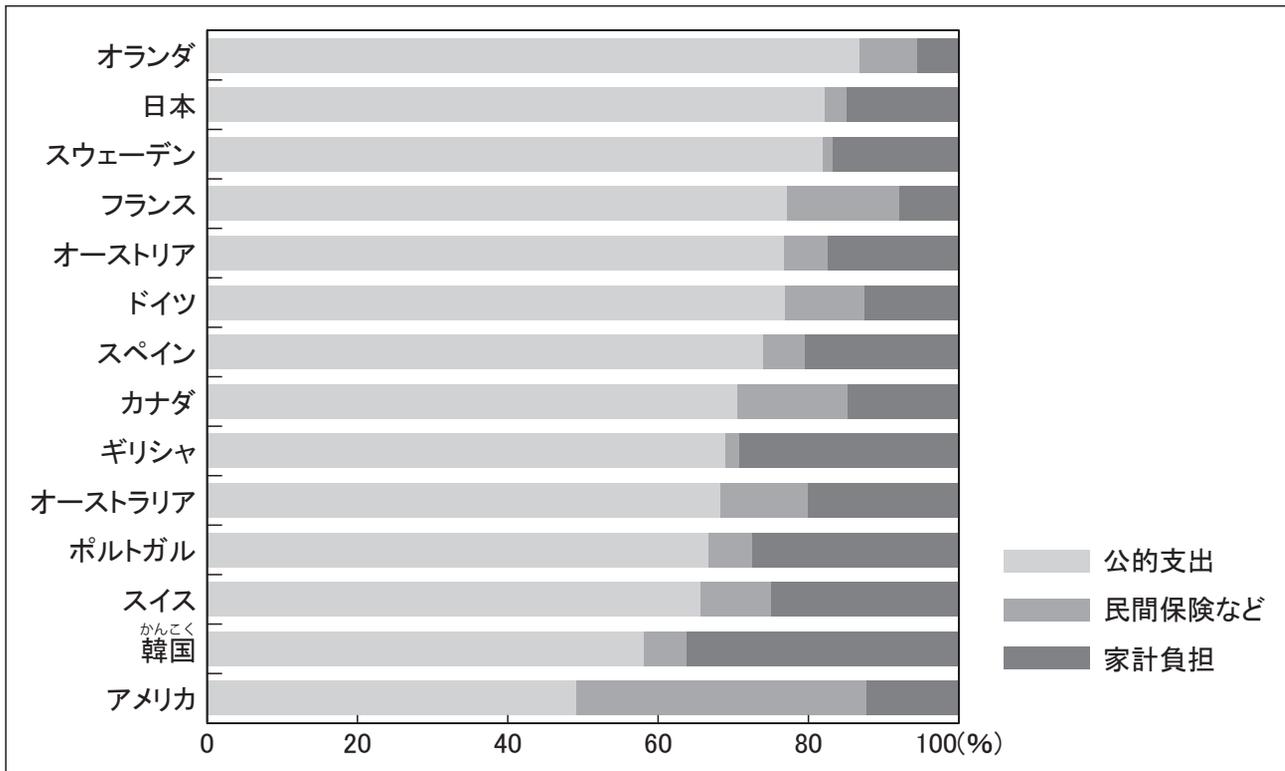
受験番号	
------	--

資料1 人口一人当たりの国民医療費の年次推移すい い



(厚生労働省「平成29年度 国民医療費の概況がいきょう」より作成)

資料2 医療費の負担割合の国際比較



(内閣府「平成26年度 年次経済財政報告」より作成)

※ 公的支出…国・都道府県・市町村などが支払う費用。  
 民間保険…保険会社が販売している保険商品。事前に購入する必要があるが、もし病気やけがをした時は保険会社が医療費を負担してくれる。  
 家計…家族が暮らしていくための費用。